



日本の教育方針が私の考えを変える



国	籍	ベトナム
職	種	プラスチック成形
実習実施者		株式会社シード
監理団体		すずらん協同組合

ファン ティ フェン
PHAN THI HUYEN

私は去年の1月から技能実習生として来日し、埼玉県でコンタクト製造業の技能実習を行っています。日本に来てから今までたった一年間しか経ってないのですが、生活や実習を通じて体験した沢山のことが、私にとって勉強となっています。その中でも私にとって最もいい体験で、物凄くいい印象を残し、一生忘れられない程の話を今日、皆さんに紹介します。その話のテーマは「日本の教育方針が私の考えを変える」というものです。数ヶ月前、休みの日に私はフェイスブックに投稿されたあるビデオを見ました。そのビデオはホテル学科の専門学生のサービス介助士授業についてのビデオでした。それから内容を見ました。簡単に説明すると最初に教えられたのは専門知識です。例えば、どんな障害者がいるのか、各タイプの特徴とそれに対する必要なサポートや老人ホームのインフラ等です。そして介助士になったらどのような振る舞いをとったらいいのかということも教えられました。やはりくら知識を勉強しても実際に実習しなければ、結局頭の中に残っていく知識は本当にわずかでいつか忘れてしまう恐れがあります。ですから、ビデオの最後は障

害者になって買い物することを体験したり、車椅子での移動のし方を実習したりしていました。実習授業の意義はもちろん、この日本国の知識を直ぐ活用できる教育のし方に驚かされました。このような授業がいつかベトナムも出来たらいいなと感じました。さて、好奇心が溢れている私のような閲覧者も、ただビデオを見るだけでは知識ばかりを勉強している学生と一緒にと思ったので、家の中にある授業のような道具を足や腰や目に付けて紐で締めて動いてみました。その瞬間本当に辛くて大変でした。一瞬自分の体がこのようになったら生き続けたくなくなると感じた程です。こういうことをして初めて障害者や高齢者の気持ちをやっと深く理解できるようになりました。「日本の教育方針が私の考えを変える」というタイトルに戻って言うと、このビデオを見たことで、私の考え方が変わりました。具体的に、自分の周りのおじいさん、おばあさんや障害者への見方を積極的に直すべきと感じました。それから病院や老人ホームで毎日一生懸命働いている医者や看護師等への感謝の気持ちを改めて心掛けました。更に日本国の高齢者目線の教育方針と若者を中心に世話する姿勢が本当に素晴らしいと感じ、心より尊敬しています。私は日本に来る前にベトナムで5年間医療業界に関して勉強したり、仕事をしたりしていました。ですが、このような大切な学びは日本に来なければ絶対に得られなかったと思います。ですので将来、技能実習期間終了後、日本へ留学チャンスがあれば是非行きたいし、看護師とか医者になれるようにもっと勉強したいと考えています。

最後の一言ですが、日本が本当に大好きで日本に来てよかったです。